



管理者ユーザ アカウントおよび グループの作成と管理

この章では、Wide Area Application Service (WAAS) Central Manager GUI からユーザ アカウントおよびグループを作成する方法について説明します。



(注)

この章では、ネットワークに存在する WAAS Central Manager と Wide Area Application Engine (WAE) を総称する用語として「WAAS デバイス」を使用します。「WAE」は、WAE アプライアンスおよび WAE ネットワーク モジュール (NME-WAE デバイス ファミリ) を示します。

この章の構成は、次のとおりです。

- [管理者ユーザ アカウントの概要 \(p.7-2\)](#)
- [ユーザ アカウントの作成と管理 \(p.7-3\)](#)

管理者ユーザアカウントの概要

WAAS システムでは、WAAS Central Manager GUI や WAAS CLI にアクセスするために使用できる管理者アカウントがすでに作成されています。このアカウントのユーザ名は *admin*、パスワードは *default* です。このアカウントのパスワードを変更するには、WAAS Central Manager GUI を使用します。

追加の管理者ユーザアカウントを作成したい場合は、2種類のアカウントの説明について表 7-1 を参照してください。

表 7-1 アカウントの種類の説明

アカウントの種類	説明
役割に基づくアカウント	<p>特定の WAAS サービスを管理し、設定するアカウントを作成できます。たとえば、アプリケーションアクセラレーションの設定を特定の管理者に委譲したい場合があります。この場合、[Acceleration] ページだけにアクセスできる役割に基づくアカウントを作成できます。</p> <p>あるいは、WAAS Central Manager GUI の代わりに WAE Device Manager だけにアクセスできる役割に基づくアカウントを作成できます。また、ローカル ユーザアカウントでもある役割に基づくアカウントを作成できます。</p> <p>役割に基づくアカウントは、WAAS Central Manager GUI の [Admin] ドロワから作成します。</p>
ローカルアカウント	<p>ユーザは、CLI から WAE デバイスにアクセスでき、オプションで Print Services Administration GUI と WAE Device Manager GUI にアクセスできます。この種類のアカウントを持つユーザは、WAAS Central Manager にログインできますが、アクセス権は GUI 機能にアクセスできないデフォルトのアカウントに初期設定されます。</p> <p>CLI だけから WAE デバイスまたは WAE Device Manager GUI にアクセスする必要がある管理者がいる場合は、ローカルアカウントを作成することを推奨します。</p> <p>ローカルアカウントは、役割に基づくアカウントと同じように作成しますが、アカウントを作成するときに [Local User] チェックボックスを選択します。</p>

ユーザアカウントの作成と管理

ここでは、次の内容について説明します。

- [アカウントの作成の概要 \(p.7-3\)](#)
- [アカウントの操作 \(p.7-3\)](#)
- [パスワードの操作 \(p.7-10\)](#)
- [役割の操作 \(p.7-11\)](#)
- [ドメインの操作 \(p.7-16\)](#)
- [ユーザグループの操作 \(p.7-20\)](#)

アカウントの作成の概要

表 7-2 に、役割に基づく新しい管理者アカウントを作成するために完了する必要がある手順の概要を示します。

表 7-2 役割に基づく管理者アカウントを作成するためのチェックリスト

作業	追加情報と手順
1. 新しいアカウントを作成する。	システムに、特定のユーザ名、パスワード、および特権レベルを持つアカウントを作成します。詳細については、「 新しいアカウントの作成 (p.7-4) 」を参照してください。
2. 新しいアカウントの役割を作成する。	アカウントが WAAS ネットワークで設定できるサービスを指定する役割を作成します。詳細については、「 新しい役割の作成 (p.7-12) 」を参照してください。外部認証サーバを使用している場合、ユーザに役割を自動的に割り当てる一致ユーザグループを定義できます。
3. 新しいアカウントに役割を割り当てる。	新しいアカウントに新しい役割を割り当てます。詳細については、「 ユーザアカウントへの役割の割り当て (p.7-13) 」を参照してください。外部認証サーバを使用している場合、ユーザに役割を自動的に割り当てる一致ユーザグループを定義できます。
4. ドメインを作成します。	新しいアカウントが管理できる WAE またはデバイスグループを指定するドメインを作成します。詳細については、「 新しいドメインの作成 (p.7-16) 」を参照してください。
5. ドメインにエンティティを追加します。	ドメインに1つまたは複数の WAE またはデバイスグループを追加します。詳細については、「 ドメインへのエンティティの追加 (p.7-17) 」を参照してください。
6. ユーザアカウントにドメインを割り当てます。	新しいユーザアカウントにドメインを割り当てます。詳細については、「 ユーザアカウントへのドメインの割り当て (p.7-18) 」を参照してください。外部認証サーバを使用している場合、ユーザにドメインを自動的に割り当てる一致ユーザグループを定義できます。

アカウントの操作

ユーザアカウントを作成するときは、ユーザ名、アカウントを所有する個人の氏名、連絡先情報、職位、部門のようなユーザに関する情報を入力します。すべてのユーザアカウント情報は、WAAS Central Manager の内部のデータベースに保存されます。

次に、各ユーザアカウントに役割を割り当てることができます。役割は、ユーザがアクセスできる WAAS Central Manager GUI の設定ページとユーザが設定または変更する権限を持つサービスを定義します。WAAS Central Manager は、admin と print という2つの定義済みの役割を提供します。

`admin` 役割は、すべてのサービスにアクセスできます。`print` 役割は、すべての印刷関連ページにアクセスできます。ドメインは、ユーザがアクセスして設定または変更できるネットワーク内のエンティティを定義します。ユーザアカウントには、役割およびドメインを割り当てることも、割り当てないこともできます。

ユーザアカウントに加え、TACACS+ または Windows ドメイン サーバ (RADIUS サーバではなく) でユーザの外部認証を使用している場合は、ユーザグループを作成できます。外部認証サーバで定義されたユーザグループと一致するユーザグループ名を作成することにより、WAAS は外部認証サーバで定義されているとおりに、グループのメンバシップに基づいて、ユーザに役割およびドメインをダイナミックに割り当てることができます。各ユーザに個別に役割またはドメインを定義する必要はありません。

WAAS Central Manager には、あらかじめ 2 つのデフォルトのユーザアカウントが設定されています。最初のアカウント、`admin` アカウントは、システムのすべてのサービスとすべてのエンティティにアクセスできる管理者役割に割り当てられます。このアカウントはシステムから削除できませんが、変更することはできます。このアカウントのユーザ名と役割は変更できません。`admin` 役割を割り当てられたアカウントだけが、他の `admin` レベルのアカウントを作成できます。

設定済みの 2 番目のユーザアカウントは、`default` アカウントです。認証されても、まだ WAAS Central Manager に登録されていないユーザアカウントは、`default` アカウントに割り当てられているアクセス権 (役割) を取得します。このアカウントは、管理者が設定できますが、削除したり、ユーザ名を変更することはできません。当初、`default` アカウントは、役割が定義されていないため、GUI 機能にアクセスできません。ただし、WAAS Central Manager GUI にはログインできます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [新しいアカウントの作成 \(p.7-4\)](#)
- [ユーザアカウントの変更と削除 \(p.7-7\)](#)
- [自身のアカウントのパスワードの変更 \(p.7-8\)](#)
- [別のアカウントのパスワードの変更 \(p.7-9\)](#)
- [ユーザアカウントの表示 \(p.7-9\)](#)
- [ユーザアカウントのロック解除 \(p.7-9\)](#)

新しいアカウントの作成

アカウントをセットアップする最初の手順では、ユーザ名を指定し、ローカル CLI アカウントを同時に作成するかどうかを選択して、アカウントを作成します。アカウントを作成したら、アカウントが管理し、設定できる WAAS サービスとデバイスを決定する役割をアカウントに割り当てることができます。

表 7-3 に、アカウントをセットアップするときにローカル CLI ユーザを作成することの結果について説明します。

表 7-3 ローカル ユーザを作成することによる結果

処理	結果
ローカル ユーザの作成	<ul style="list-style-type: none"> アカウントを使用して、WAAS CLI、WAAS Central Manager GUI (デフォルトの役割で)、および WAE Device Manager (オプションを選択した場合) にアクセスできます。 ユーザは自身のパスワードを変更でき、パスワードの変更はスタンバイ WAAS Central Manager に伝達されます。 アカウントは WAAS Central Manager データベースに保存され、スタンバイ WAAS Central Manager に伝達されます。
ローカル ユーザの非作成	<ul style="list-style-type: none"> プライマリおよびスタンバイ WAAS Central Manager 管理データベースに、ユーザアカウントが作成されます。 CLI にはユーザアカウントが作成されません。ユーザは、CLI にアクセスするために別のアカウントを使用する必要があります。 外部認証サーバが設定されている場合、新しいアカウントを使用して WAAS Central Manager GUI にログインできます。ユーザには、デフォルト ユーザ用に定義されている役割が割り当てられます (当初は役割なし)。 ローカル ユーザは、[Admin] > [AAA] セクションにアクセスできる役割を持っている場合のみ、WAAS Central Manager GUI を使用して自身のパスワードを変更できます。



(注)

ユーザアカウントが CLI だけから作成された場合、初めて WAAS Central Manager GUI にログインすると、Centralized Management System (CMS) が、デフォルトの許可とアクセス制御を持つユーザアカウント (ユーザ名は CLI で設定されたユーザ名) を自動的に作成します。CLI から作成されたアカウントは、当初、WAAS Central Manager GUI のどの設定ページにもアクセスできません。CLI から作成されたアカウントに WAAS Central Manager GUI から設定作業を実行する必要がある役割を割り当てるには、admin アカウントを使用する必要があります。

新しいアカウントを作成するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [AAA] > [Users] を選択します。

[User Accounts] ウィンドウに、システム上のすべてのユーザアカウントが表示されます。

ステップ 2 [Create New User Accounts] アイコンをクリックします。

[Creating New User Account] ウィンドウが表示されます。



(注) このウィンドウには、管理者レベルの特権を持つユーザだけがアクセスできます。

ステップ 3 [Username] フィールドに、ユーザアカウント名を入力します。

ユーザ名は、大文字と小文字を区別し、特殊文字を使用できます。

ステップ 4 ユーザが WAE Device Manager GUI にアクセスできるようにするには、次の手順に従ってください。

- a. **[WAE Device Manager User]** チェック ボックスを選択します。
- b. **[Device Manager Access]** ドロップダウン リストから、このアカウントが Device Manager GUI にアクセスするためのオプションを選択します。
 - **[Read Only]** — このユーザを Device Manager GUI への読み取り専用アクセスに制限します。
 - **[Read Write]** — このユーザに Device Manager GUI への読み取り / 書き込みアクセスを許可します。

ステップ 5 ローカル CLI ユーザ アカウントを作成するには、次の手順に従ってください。

- a. **[Local User]** チェック ボックスを選択します。ローカル CLI ユーザを作成する利点については、[表 7-3 \(p.7-5\)](#) を参照してください。すべての WAE デバイスにローカル ユーザが作成されます。



(注) 外部認証サーバに定義済みで、WAAS デバイスへのアクセスが許可されているユーザ名と同じユーザ名のローカル ユーザは作成しないでください。

- b. **[Password]** フィールドにローカル ユーザ アカウントのパスワードを入力し、**[Confirm password]** フィールドに同じパスワードを再入力します。パスワードは大文字と小文字の区別をし、長さは 1 ~ 34 字である必要があります。` ` | (一重引用符、二重引用符、パイプ) の文字、または制御文字を含めることはできません。
- c. **[CLI Privilege Level]** ドロップダウン リストから、ローカル ユーザ アカウント用のオプションを選択します。
 - **[0] (通常ユーザ)** — このユーザが使用できる CLI コマンドをユーザ レベルの EXEC コマンドだけに制限します。これは、デフォルトの値です。
 - **[15] (特権ユーザ)** — このユーザに特権 EXEC レベルの CLI コマンドの使用を許可します。



(注) システム動作を設定、表示、およびテストするには、WAAS の CLI EXEC モードを使用します。このモードは、ユーザと特権の 2 つのアクセス レベルに分かれています。「通常」の特権を持つローカル ユーザは、ユーザ レベルの EXEC CLI モードだけにアクセスできます。「スーパーユーザ」特権を持つローカル ユーザは、特権 EXEC モードと他のすべてのモード (たとえば、設定モードとインターフェイス モード) にアクセスして、任意の管理作業を実行できます。ユーザ レベルおよび特権 EXEC モードと CLI コマンドの詳細については、『*Cisco Wide Area Application Services Command Reference*』を参照してください。

ステップ 6 **[Print Admin]** チェック ボックスを選択して、このアカウントを使用して WAAS Central Manager 上の中央レポジトリにドライバをアップロードし、**Print Services Administration GUI** にアクセスします。

詳細については、「[ドライバリポジトリとしての WAAS Central Manager の設定](#)」(p.13-18) および「[Print Services Administration GUI の使用方法](#)」(p.13-30) を参照してください。

print admin アカウントについては、次の事項に注意してください。

- この **[Print Admin]** チェックボックスは、**[Local User]** チェック ボックスを選択しないと有効になりません。

- アカウントを使用してリポジトリにドライバをアップロードするには、**print admin** アカウントに特権レベル 15（特権ユーザ）が必要です。**print admin** アカウントの特権レベルが 0 の場合、Print Services Administration GUI にアクセスするためだけに使用できます。
- **print admin** アカウントは、**print** または **admin** 役割が割り当てられていない場合、WAAS Central Manager の印刷関連ページにアクセスできません。
- **print admin** アカウントにドメインを割り当てる必要があります。ユーザがアクセスする必要があるすべての WAE を割り当てたドメインに所属させる必要があります。
- 外部認証ユーザには、**print** 役割を割り当てることができません。

ステップ 7 (任意) [User Information] フィールドの該当するフィールドにユーザに関する情報（氏名、電話番号、E メールアドレス、職位、および部門）を入力します。

ステップ 8 (任意) [Comments] フィールドに、このアカウントに関する追加情報を入力します。

ステップ 9 [Submit] をクリックします。

[Changes Submitted] メッセージが、ウィンドウの一番下に表示されます。

ステップ 10 この新しいアカウントに役割（「[役割の操作](#)」[\[p.7-11\]](#)を参照）、およびドメイン（「[ドメインの操作](#)」[\[p.7-16\]](#)を参照）を割り当てます。

ユーザアカウントの変更と削除



(注) CLI からユーザアカウントを変更しても、CMS データベースはアップデートされません。

既存のユーザアカウントを変更するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [AAA] > [Users] を選択します。

[User Accounts] が表示されます。

ステップ 2 変更したいユーザアカウントの横にある [Edit] アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] が表示されます。次のように、ユーザアカウントを削除または編集できます。



(注) このウィンドウには、管理者レベルの特権を持つユーザだけがアクセスできます。

- ユーザアカウントを削除するには、タスクバーの [Delete] アイコンをクリックし、[OK] をクリックして削除を確認します。

ローカルユーザアカウントが WAAS Central Manager GUI を使用して作成された場合、対応するユーザアカウントが CLI から削除され、すべてのスタンバイ WAAS Central Manager から削除されます。



(注) CLI からユーザアカウントを削除しても、CMS データベース内の対応するユーザアカウントは無効になりません。そのため、ユーザアカウントは、CMS データベースにアクティブ状態で残ります。WAAS Central Manager GUI で作成したユーザアカウントは、常に WAAS Central Manager GUI から削除する必要があります。

- ユーザアカウントを編集するには、ユーザ名とアカウント情報に必要な変更を行い、[Submit] をクリックします。

自身のアカウントのパスワードの変更

WAAS Central Manager GUI にログインすると、次の要件に適合する場合、自身のアカウントパスワードを変更できます。

- アカウントとパスワードが、CLI でなく、WAAS Central Manager GUI で作成されました。
- パスワードウィンドウにアクセスできます。



(注) ローカル CLI ユーザパスワードは、CLI から変更しないでください。CLI からローカル CLI ユーザパスワードを変更しても、管理データベースはアップデートされず、スタンバイ WAAS Central Manager に伝達されません。したがって、管理データベース内のパスワードは、CLI で設定した新パスワードと一致しません。



(注) WAAS Central Manager GUI からパスワードを初期設定することには、プライマリとスタンバイの両方の WAAS Central Manager が同期し、GUI ユーザがパスワードを変更するために CLI にアクセスする必要がないという利点があります。

自身のアカウント用のパスワードを変更するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [Password] を選択します。

[Changing Password for User Account] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [New Password] フィールドに、変更したパスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字の区別をし、長さは 1 ~ 34 字である必要があります。` ` | (一重引用符、二重引用符、パイプ) の文字、または制御文字を含めることはできません。

ステップ 3 [Confirm New Password] フィールドに、確認のためにパスワードを再入力します。

ステップ 4 [Submit] をクリックします。

パスワードが変更されたことを確認する「Changes Submitted」メッセージが、ウィンドウの一番下に表示されます。

WAAS Central Manager GUI を使用してアカウントのパスワードを変更すると、Central Manager が管理するすべての WAE デバイスのパスワードが変更されます。

別のアカウントのパスワードの変更

admin 特権を持つアカウントを使用して WAAS Central Manager GUI にログインすると、他のアカウントのパスワードを変更できます。

別のアカウント用のパスワードを変更するには、次の手順に従ってください。

- ステップ 1** WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Users]** を選択します。
役割に基づくユーザアカウントのリストが表示されます。
- ステップ 2** 新しいパスワードが必要なアカウントの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。**[Modifying User Account]** が表示されます。
- ステップ 3** **[Password]** フィールドに、変更したパスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字の区別をし、長さは 1 ～ 34 字である必要があります。` ` | (一重引用符、二重引用符、パイプ) の文字、または制御文字を含めることはできません。
- ステップ 4** **[Confirm Password]** フィールドに、確認のためにパスワードを再入力します。
- ステップ 5** **[Submit]** をクリックします。

パスワードが変更されたことを確認する「Changes Submitted」メッセージが、ウィンドウの一番下に表示されます。

ユーザアカウントの表示

すべてのユーザアカウントを表示するには、WAAS Central Manager GUI から **[Admin] > [AAA] > [Users]** を選択します。**[User Accounts]** ウィンドウに、管理データベース内のすべてのユーザアカウントが表示されます。「[新しいアカウントの作成](#)」(p.7-4) の説明に従って、このウィンドウから新しいアカウントを作成することもできます。

ユーザアカウントのロック解除

ユーザアカウントがロックされると、そのユーザは、管理者がアカウントのロックを解除するまで、WAAS サービスにログインできません。ユーザが 3 回連続してログイン試行に失敗すると、ユーザアカウントがロックされます。

アカウントのロックを解除するには、次の手順に従ってください。

- ステップ 1** WAAS Central Manager GUI から、**[System] > [AAA] > [Users]** を選択します。
[User Accounts listing] ウィンドウが表示され、各ユーザアカウントのステータスが示されます。



(注) このウィンドウには、管理者レベルの特権を持つユーザだけがアクセスできます。

ステップ 2 変更したいユーザアカウントの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] ウィンドウが表示され、このアカウントがロックされたデバイスのリストが表示されます。

ステップ 3 アカウントのロックを解除するデバイスを選択します。

デバイスユーザのリストが表示されます。

ステップ 4 ロック解除するユーザを選択し、**[unlock]** ボタンをクリックします。

パスワードの操作

WAAS システムには、標準と強力な 2 つのレベルのパスワードポリシーがあります。デフォルトでは、標準パスワードポリシーが有効になっています。

パスワードポリシーを変更するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインで、**[My WAN] > [Manage Devices]** (または **[Manage Device Groups]**) を選択します。

ステップ 2 パスワードポリシーを作成するデバイスまたはデバイスグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

ステップ 3 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [Authentication] > [Password Policy Settings]** を選択します。

ステップ 4 **[Enforce stringent password]** チェックボックスを選択して、強力パスワードポリシーを有効化します。

ステップ 5 **[Submit]** をクリックして、変更を保存します。

CLI からパスワードポリシーを設定するには、**authentication strict-password-policy** グローバル設定コマンドを使用します。

標準のパスワードポリシーが有効な場合、ユーザパスワードは次の要件を満たしている必要があります。

- パスワードの長さは、1 ~ 34 文字までです。
- パスワードには、大文字と小文字 (A ~ Z および a ~ z) および数字 (0 ~ 9) を含めることができます。
- パスワードには、' ' | (一重引用符、二重引用符、パイプ) の文字、または制御文字を含めることはできません。

強力なパスワードポリシーが有効な場合、ユーザパスワードは次の要件を満たしている必要があります。

- パスワードの長さは、11文字以上です。
- パスワードには、大文字と小文字の両方（A～Z および a～z）、数字（0～9）、および～!@#%\$^&*()_+=[\];:;</>を含む特殊文字を含めることができます。
- パスワードには、' " |（一重引用符、二重引用符、パイプ）の文字、または制御文字を含めることはできません。
- パスワードをすべて同じ文字にすることはできません（たとえば、99999）。
- パスワードを連続した文字にすることはできません（たとえば、12345）。
- パスワードをユーザ名と同じにすることはできません。

ユーザパスワードの有効期限は90日間です。新しいパスワードは、それ以前の12個のパスワードとは異なっている必要があります。

ユーザアカウントは、ログイン試行に3回失敗するとロックされます。管理者がクリアしない限り、ユーザはロックされたままです。アカウントのロックをクリアするには、「[ユーザアカウントのロック解除](#)」(p.7-9)を参照してください。

役割の操作

WAAS Central Manager GUIを使用すると、各管理者が特定のWAASサービスの設定と管理に集中できるように、WAASシステム管理者の役割を作成できます。たとえば、管理者にアプリケーションポリシーの作成と変更を許可し、他のシステム変更を許可しない役割を設定できます。

役割とは、有効にされた1組のサービスとみなすことができます。役割を作成するときにサービスを選択することになるため、役割が担当するサービスについて明確に把握する必要があります。役割を作成したら、この章で後述する説明にしたがって、既存のアカウントに役割を割り当てることができます。

役割により、有効化されている各サービスに読み取りと書き込み、または読み取り専用アクセス権が与えられます。

各ユーザアカウントまたはグループには、0を含む任意の数の役割を割り当てることができます。役割は、継承されず、組み込まれません。WAAS Central Managerは、adminとprintという2つの定義済みの役割を提供します。admin役割は、すべてのサービスにアクセスできます。print役割は、WAAS Central Managerのすべての印刷関連ページにアクセスできます。

WAASは外部TACACS+またはWindowsドメイン認証サーバで定義されているとおりに、グループのメンバシップに基づいて、ユーザに役割をダイナミックに割り当てることができます。この機能を利用するには、外部認証サーバで定義されたユーザグループに一致するWAAS Central Manager上のユーザグループ名を定義し、これらのユーザグループに役割を割り当てる必要があります。ユーザグループの詳細については、「[ユーザグループの操作](#)」(p.7-20)を参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [新しい役割の作成](#) (p.7-12)
- [ユーザアカウントへの役割の割り当て](#) (p.7-13)
- [役割の変更と削除](#) (p.7-14)
- [役割設定の表示](#) (p.7-15)

新しい役割の作成

新しい役割を作成するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Roles]** を選択します。

[Roles listing] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 タスクバーの **[Create New Role]** アイコンをクリックします。

[Creating New Role] ウィンドウが表示されます

ステップ 3 [Name] フィールドに、役割の名前を入力します。

ステップ 4 この役割に管理させたいサービスの横にあるチェックボックスを選択します。

このウィンドウのチェックボックスには、3つのステートがあります。ボックスにチェックがある場合、ユーザはこのサービスに対する読み取りと書き込みアクセス権があるという意味です。チェックボックスを再度クリックすると、インジケータはチェックボックスを部分的に塗りつぶした四角に変わります。このインジケータは、ユーザがこのサービスに対して読み取り専用アクセス権を持つという意味です。

カテゴリでサービスのリスティングを展開するには、フォルダをクリックし、この役割のために有効にしたいサービスの横にあるチェック ボックスを選択します。カテゴリのすべてのサービスを同時に選択するには、それらのサービスの最上位フォルダの横にあるチェック ボックスを選択します。

表 7-4 に、役割のために有効にできるサービスを示します。

表 7-4 WAAS サービスの説明

サービス	説明
Devices	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [My WAN] ドロワの設定を構成および管理できます。[My WAN] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。
Monitor	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [Monitor] ドロワの設定を構成および管理できます。[Monitor] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。
Report	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [Report] ドロワの設定を構成および管理できます。[Report] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。
Jobs	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [Jobs] ドロワの設定を構成および管理できます。[Jobs] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。
Configure	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [Configure] ドロワの設定を構成および管理できます。[Configure] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。
Admin	この役割は、WAAS Central Manager GUI の [Admin] ドロワの項目にアクセスできます。[Admin] ドロワ全体を有効にしたい場合は、この役割に管理させたいサブページを選択します。

表 7-4 WAAS サービスの説明（続き）

サービス	説明
All WAEs	<p>この役割は、WAAS ネットワーク内のすべての WAE にアクセスできます。このサービスを有効にしない場合、ユーザアカウントは、アカウントに割り当てられたドメインに関連する WAE だけにアクセスできます。</p> <p>このサービスを選択すると、役割に基づくアカウントを設定するときに次の作業を省略できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク内のすべての WAE を含むドメインの作成および保守 すべての WAE を含むドメインのアカウントへの割り当て
All Device Groups	<p>この役割は、WAAS ネットワーク内のすべてのデバイス グループにアクセスできます。このサービスを有効にしない場合、ユーザアカウントは、アカウントに割り当てられたドメインに関連するデバイス グループだけにアクセスできます。</p> <p>このサービスを選択すると、役割に基づくアカウントを設定するときに次の作業を省略できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク内のすべてのデバイス グループを含むドメインの作成および保守 すべてのデバイス グループを含むドメインのアカウントへの割り当て
Monitoring API	この役割は、HTTPS 要求による API の監視にアクセスできます。詳細については、 <i>Cisco Wide Area Application Services API Reference</i> を参照してください。
System Status	<p>この役割は、デバイスのアラーム ウィンドウ [My WAN] > [Alerts] にアクセスできます。</p> <p>デバイス アラームの詳細については、第 16 章「WAAS ネットワークの監視およびトラブルシューティング」を参照してください。</p>

ステップ 5 (任意) [Comments] フィールドに、この役割に関するコメントを入力します。

ステップ 6 「Submit」をクリックして、設定を保存します。

ユーザアカウントへの役割の割り当て

作成した役割は、アカウント（ユーザグループ）に割り当てる必要があります。アカウントを作成しても、アカウントに役割を割り当てない場合、このアカウントは、WAAS Central Manager GUI にログインできますが、データは表示されず、設定ページを使用できません。



(注)

デフォルトで、admin ユーザアカウントには、システム内のすべてのエンティティにアクセスできる役割が割り当てられます。このユーザアカウント用の役割は変更できません。

1 つまたは複数の役割をユーザアカウントグループに割り当てるには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Users]** (または **[Admin] > [AAA] > [User Groups]**) を選択します。

[User Accounts] (または [User Groups]) ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザアカウントが表示されます。

ステップ 2 役割を割り当てたいユーザ アカウントまたはグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **[Role Management]** タブをクリックします。

[Role Management] ウィンドウが表示され、設定されているすべての役割名が表示されます。

ステップ 4 選択したユーザ アカウントまたはグループに割り当てたい役割名の横に表示される **[Assign]** アイコン (青色の十字) をクリックします。

ステップ 5 すでに割り当てられている役割の割り当てを解除する役割名の横にある **[Unassign]** (緑色のチェック マーク) をクリックします。



(注) タスクバーの **[Assign all Roles]** アイコンをクリックして、現在のウィンドウ内のすべての役割をユーザ アカウントまたはグループに割り当てます。あるいは、**[Remove all Roles]** アイコンをクリックして、ユーザ アカウントまたはグループに関連付けられたすべての役割の割り当てを解除します。

ステップ 6 **[Submit]** をクリックします。

割り当てられた役割の横に緑色のチェック マークが表示され、割り当てられていない役割の横に青色の十字マークが表示されます。このユーザ アカウントまたはグループに割り当てられた役割は、[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウの [Roles] セクションに表示されます。

役割の変更と削除



(注) デフォルトで、admin ユーザ アカウントは、すべてのサービスにアクセスでき、変更できません。

役割を変更または削除するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Roles]** を選択します。

[Roles] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 変更または削除したい役割の名前の横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying Role] ウィンドウが表示されます。次のように、役割を変更できます。

- この役割を削除するには、タスクバーの **[Delete]** アイコンをクリックします。
- この役割を編集するには、フィールドで必要な変更を行い、**[Submit]** をクリックします。
- この役割用のサービスを有効にするには、必要なサービスの横にあるチェックボックスを選択します。すでに選択されているサービスを無効にするには、無効にしたいサービスの横にあるチェックボックスの選択を解除します。あるカテゴリのすべてのサービスを同時に選択するには、最上位サービスの横にあるチェックボックスを選択します。

役割設定の表示

特定のユーザアカウントまたはグループに役割を割り当てる前に、役割設定を表示したい場合があります。

役割設定を表示するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーションペインから、**[Admin] > [AAA] > [Users]** (または **[Admin] > [AAA] > [User Groups]**) を選択します。

[User Accounts] (または [User Groups]) ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザアカウントまたはグループが表示されます。

ステップ 2 表示したいユーザアカウントまたはグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **[Role Management]** タブをクリックします。

[Role Management] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 表示したい役割の横にある **[View]** アイコンをクリックします。

[Viewing Role] ウィンドウが表示され、役割名、この役割に関するコメント、およびこの役割用に有効になっているサービスが表示されます。

ステップ 5 設定の表示が完了したら、**[Close]** をクリックします。

ドメインの操作

ドメインは、WAAS ネットワークを構成するデバイス グループまたは WAE の集合です。役割は、ユーザが WAAS ネットワークで管理できるサービスを定義します。これに対し、ドメインは、ユーザがアクセスできるデバイス グループ、WAE、またはファイル サーバのダイナミック共有を定義します。

ドメインを作成するとき、ドメインに関連付けられるエンティティ タイプを選択します。エンティティ タイプには、WAE、デバイス グループ、またはなし（サーバダイナミック共有用）があります。ファイルサーバのダイナミック共有の場合、ダイナミック共有は、「[ダイナミック共有の作成](#) (p.11-23) の説明に従ってダイナミック共有設定で割り当てられます。

WAAS は外部 TACACS+ または Windows ドメイン認証サーバで定義されているとおりに、グループのメンバシップに基づいて、ユーザにドメインをダイナミックに割り当てることができます。この機能を利用するには、外部認証サーバで定義されたユーザグループに一致する WAAS Central Manager 上のユーザグループ名を定義し、これらのユーザグループにドメインを割り当てる必要があります。ユーザグループの詳細については、「[ユーザグループの操作](#)」(p.7-20) を参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [新しいドメインの作成](#) (p.7-16)
- [ドメインへのエンティティの追加](#) (p.7-17)
- [ユーザアカウントへのドメインの割り当て](#) (p.7-18)
- [ドメインの変更と削除](#) (p.7-19)
- [ドメインの表示](#) (p.7-19)

新しいドメインの作成

新しいドメインを作成するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Domains]** を選択します。

[Domains listing] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 タスクバーの **[Create New Domain]** アイコンをクリックします。

[Creating New Domain] ウィンドウが表示されます

ステップ 3 [Name] フィールドに、ドメインの名前を入力します。

ステップ 4 [Entity Type] ドロップダウン リストから、ドメインに割り当てたいエンティティ タイプを選択します。エンティティの選択肢は、[WAE]、[Device Groups]、および [None] です。このドメインが、ファイルサーバのダイナミック共有に使用されている場合、[None] を選択します。

ステップ 5 (任意) [Comments] フィールドに、このドメインに関するコメントを入力します。

ステップ 6 **[Submit]** をクリックします。

選択したエンティティ タイプがまだドメインに割り当てられていない場合、エンティティ タイプが割り当てられていないことを示すメッセージが表示されます。

ステップ7 後続のセクション、「ドメインへのエンティティの追加」の説明に従って、このドメインにエンティティを割り当てます。[Entity Type] に [None] を選択した場合は、ドメインにエンティティを割り当てないでください。「ダイナミック共有の作成」(p.11-23) に説明されているように、エンティティはダイナミック共有設定で使用されます。

ドメインへのエンティティの追加

ドメインを作成したら、ドメインにエンティティを割り当てる必要があります。エンティティは、WAEの集合またはデバイスグループの集合です。ファイルサーバのダイナミック共有で使用されるドメインには、エンティティを割り当てる必要はありません。この場合のエンティティタイプは [None] です。

ドメインにエンティティを追加するには、次の手順に従ってください。

ステップ1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [AAA] > [Domains] を選択します。

ステップ2 変更したいドメインの横にある [Edit] アイコンをクリックします。

ステップ3 [Entity Management] タブをクリックします。

現在のドメインの [Entity_name Assignments for Domain] ウィンドウが表示されます。

次のように、ドメインにエンティティを追加し、ドメインからエンティティを削除できます。

- 現在のドメインにエンティティを追加するには、追加したいエンティティの横にある [Assign] アイコン（青色の十字マーク）をクリックします。この設定を送信すると、選択したエンティティの横に緑色のチェックマークが表示されます。
あるいは、選択したドメインにすべてのエンティティを追加するには、タスクバーの [Assign all] アイコンをクリックします。
- 現在のドメインからエンティティを削除するには、ドメインから削除したいエンティティの名前の横にある [Unassign] アイコン（緑色のチェックマーク）をクリックします。設定を確定すると、割り当てを解除したエンティティの横に青色の十字マークが表示されます。
あるいは、ドメインからすべてのエンティティを削除するには、タスクバーの [Remove all] アイコンをクリックします。

ステップ4 [Submit] をクリックします。

ドメインに割り当てたエンティティの横に緑色のチェックマークが表示されます。

ステップ5 後続のセクションの説明に従って、アカウントにドメインを割り当てます。

ユーザアカウントへのドメインの割り当て

ドメインをアカウントまたはグループに割り当てると、アカウントまたはグループが管理できるエンティティ (デバイスまたはデバイスグループ)、またはファイルサーバダイナミック共有を指定することになります。



(注)

アカウントまたはグループに割り当てた役割で、[ALL WAEs]、または [ALL Device Groups] のサービスが有効になっている場合は、ドメインをアカウントまたはグループに割り当てる必要がありません。アカウントまたはグループは、自動的に WAAS システム内のすべての WAE、デバイスグループ、またはその両方にアクセスできます。詳細については、表 7-4 (p.7-12) を参照してください。

ユーザアカウントまたはグループにドメインを割り当てるには、次の手順に従ってください。

- ステップ 1** WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [AAA] > [Users] (または [Admin] > [AAA] > [User Groups]) を選択します。

[User Accounts] (または [User Groups]) ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザアカウントまたはグループが表示されます。

- ステップ 2** ドメインを割り当てたいユーザ アカウントまたはグループの横にある [Edit] アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** [Domain Management] タブをクリックします。

[Domain Management] ウィンドウが表示され、設定されたすべてのドメインおよびそのエンティティタイプが表示されます。

- ステップ 4** 選択したユーザ アカウントまたはグループに割り当てたいドメイン名の横に表示される [Assign] アイコン (青色の十字マーク) をクリックします。

ユーザアカウントまたはグループに関連付けられたドメインの割り当てを解除するには、ドメイン名の横にある Unassign (緑色のチェックマーク) をクリックします。



(注)

現在のウィンドウ内のすべてのドメインをユーザアカウントまたはグループに割り当てるには、タスクバーの [Assign all Domains] アイコンをクリックします。あるいは、ユーザアカウントまたはグループに関連付けられたすべてのドメインの割り当てを解除するには、[Remove all Domains] アイコンをクリックします。

- ステップ 5** [Submit] をクリックします。

割り当てられたドメインの横に緑色のチェックマークが表示され、割り当てられていないドメインの横に青色の十字マークが表示されます。このユーザアカウントまたはグループに割り当てられたドメインは、[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウの [Domains] セクションに表示されます。

ドメインの変更と削除

既存のドメインを変更または削除するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Domains]** を選択します。

[Domains] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 変更したいドメインの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying Domain] ウィンドウが表示されます。次のように、ドメインを変更できます。

- ドメインを削除するには、タスクバーの **[Delete]** アイコンをクリックし、**[OK]** をクリックして削除を確認します。
- ドメインを変更するには、フィールドで必要な変更を行い、**[Submit]** をクリックします。

ドメインの表示

特定のユーザアカウントまたはグループのドメイン設定を表示するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [Users]** (または **[Admin] > [AAA] > [User Groups]**) を選択します。

[User Accounts] (または [User Groups]) ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザアカウントまたはグループが表示されます。

ステップ 2 ドメイン設定を表示したいユーザ アカウントまたはグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Account] (または [Modifying User Group]) ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **[Domain Management]** タブをクリックします。

[Domain Management] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 ドメイン名の横にある **[View]** アイコン (虫眼鏡) をクリックして、ドメインに関する詳細を表示します。

[Viewing Domain] ウィンドウが表示され、ドメイン名、エンティティタイプ、このドメインに関するコメント、およびこのドメインに割り当てられたエンティティが表示されます。

ステップ 5 設定の表示が完了したら、**[Close]** をクリックします。

ユーザグループの操作

TACACS+ または Windows ドメイン サーバ (RADIUS サーバではなく) でユーザの外部認証を使用している場合は、ユーザグループを作成する可能性があります。外部認証サーバで定義されたユーザグループと一致するユーザグループ名を作成することにより、WAAS は外部認証サーバで定義されているとおりに、グループのメンバシップに基づいて、ユーザに役割およびドメインをダイナミックに割り当てることができます。役割またはドメインを各ユーザ別に定義する必要はなく、ユーザグループに役割またはドメインを定義すると、ユーザが属するグループに定義された役割およびドメインがユーザに割り当てられます。

WAAS は、外部認証サーバから各ユーザのグループメンバシップ情報を読み取ります。

ここでは、次の内容について説明します。

- [新しいユーザグループの作成 \(p.7-20\)](#)
- [ユーザグループへの役割の割り当て \(p.7-21\)](#)
- [ユーザグループへのドメインの割り当て \(p.7-22\)](#)
- [ユーザグループの変更と削除 \(p.7-23\)](#)
- [ユーザグループの表示 \(p.7-23\)](#)

新しいユーザグループの作成

新しいユーザグループを作成するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [User Groups]** を選択します。

[User Groups] リスト ウィンドウが表示されます

ステップ 2 タスクバーの **[Create New User Groups]** アイコンをクリックします。

[Creating New User Group] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [Name] フィールドに、ユーザグループの名前を入力します。

この名前が、使用している外部認証サーバで定義されたユーザグループの名前に一致していることを確認します。名前的一致は、大文字と小文字を区別します。

ステップ 4 (任意) [Comments] フィールドに、このユーザに関するコメントを入力します。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

ステップ 6 次のセクションの説明に従って、このユーザグループに役割またはドメインを割り当てます。

ユーザグループへの役割の割り当て

作成されたユーザグループには、役割を割り当てる必要があります。ユーザグループを作成しても、グループに役割を割り当てない場合、このグループは、WAAS Central Manager GUI にログインできますが、データは表示されず、設定ページを使用できません。

1 つまたは複数の役割をユーザグループに割り当てるには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [User Groups]** を選択します。

[User Groups] ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザグループが表示されます。

ステップ 2 役割を割り当てたいユーザグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Group] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **[Role Management]** タブをクリックします。

[Role Management for User Group] ウィンドウが表示され、設定されているすべての役割名が表示されます。

ステップ 4 選択したユーザグループに割り当てたい役割名の横に表示される **[Assign]** アイコン（青色の十字）をクリックします。

ステップ 5 すでに割り当てられているユーザグループの役割の割り当てを解除する役割名の横にある **[Unassign]**（緑色のチェックマーク）をクリックします。



(注) タスクバーの **[Assign all Roles]** アイコンをクリックして、現在のウィンドウ内のすべての役割をユーザグループに割り当てます。あるいは、**[Remove all Roles]** アイコンをクリックして、ユーザグループに関連付けられたすべての役割の割り当てを解除します。

ステップ 6 **[Submit]** をクリックします。

割り当てられた役割の横に緑色のチェックマークが表示され、割り当てられていない役割の横に青色の十字マークが表示されます。このユーザグループに割り当てられた役割は、[Modifying User Group] ウィンドウの [Roles] セクションに表示されます。

ユーザグループへのドメインの割り当て

ユーザグループにドメインを割り当てると、ユーザグループのメンバーであるユーザが管理できるエンティティ（デバイスまたはデバイスグループ）を指定することになります。



(注)

ユーザグループに割り当てた役割で [All WAE]、または [All Device Groups] のサービスが有効になっている場合は、ドメインをユーザグループに割り当てる必要がありません。このグループのユーザは、自動的に WAAS システム内のすべての WAE、デバイスグループ、またはその両方にアクセスできます。詳細については、表 7-4 (p.7-12) を参照してください。

ユーザグループにドメインを割り当てるには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、[Admin] > [AAA] > [User Groups] を選択します。

[User Groups] ウィンドウが表示され、設定されているすべてのユーザグループが表示されます。

ステップ 2 ドメインを割り当てたいユーザグループの横にある [Edit] アイコンをクリックします。

[Modifying User Group] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [Domain Management] タブを選択します。

[Domain Management for User Group] ウィンドウが表示され、設定されたすべてのドメインおよびそのエンティティタイプが表示されます。

ステップ 4 選択したユーザグループに割り当てたいドメイン名の横に表示される [Assign] アイコン（青色の十字マーク）をクリックします。

ユーザグループに関連付けられたドメインの割り当てを解除するには、ドメイン名の横にある **Unassign**（緑色のチェックマーク）をクリックします。



(注)

現在のウィンドウ内のすべてのドメインをユーザグループに割り当てるには、タスクバーの [Assign all Domains] アイコンをクリックします。あるいは、ユーザグループに関連付けられたすべてのドメインの割り当てを解除するには、[Remove all Domains] アイコンをクリックします。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

割り当てられたドメインの横に緑色のチェックマークが表示され、割り当てられていないドメインの横に青色の十字マークが表示されます。ユーザグループに割り当てられたドメインは、[Modifying User Group] ウィンドウの [Domains] セクションに表示されます。

ユーザグループの変更と削除

既存のユーザグループを変更するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 WAAS Central Manager GUI ナビゲーション ペインから、**[Admin] > [AAA] > [User Groups]** を選択します。

[User Groups] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 変更したいユーザグループの横にある **[Edit]** アイコンをクリックします。

[Modifying User Group] ウィンドウが表示されます。次のように、ユーザグループを削除または編集できます。



(注) このウィンドウには、管理者レベルの特権を持つユーザだけがアクセスできます。

- ユーザグループを削除するには、タスクバーの **[Delete]** アイコンをクリックし、**[OK]** をクリックして削除を確認します。
- ユーザグループを編集するには、名前とコメント情報に必要な変更を行い、**[Submit]** をクリックします。
- ユーザグループに割り当てられた **[Roles]** を変更するには、**[Role Management]** タブをクリックして、役割に必要な変更を行い、**[Submit]** をクリックします。
- ユーザグループに割り当てられた **[Domains]** を変更するには、**[Domain Management]** タブをクリックして、役割に必要な変更を行い、**[Submit]** をクリックします。

ユーザグループの表示

すべてのユーザグループを表示するには、WAAS Central Manager GUI から **[Admin] > [AAA] > [User Groups]** を選択します。[User Groups] ウィンドウに、管理データベース内のすべてのユーザアカウントが表示されます。「[新しいユーザグループの作成](#)」(p.7-20) の説明に従って、このウィンドウから新しいグループを作成することもできます。

